

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市マンガ・アニメ情報館及び新潟市マンガの家		
管理者名	にいがたアニメ・マンガプロジェクト共同体	指定期間	2018年4月1日 ~ 2023年3月31日
担当課	文化スポーツ部文化政策課		
所在地	新潟市マンガ・アニメ情報館：新潟市中央区八千代2丁目5番7号 万代シテイ・BP2 1階 新潟市マンガの家：新潟市中央区古町通6番町971番地7		
根拠法令			
設置条例	新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家条例		
施設概要	<p>【新潟市マンガ・アニメ情報館】 建築構造：鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上4階建て 専有面積：914.47㎡ 施設：常設展示コーナー、企画展示コーナー、ミニシアター、交流体験スペース・閲覧コーナー</p> <p>【新潟市マンガの家】 建築構造：鉄筋コンクリート造陸屋根8階建て 延床面積：349.07㎡ 施設：常設展示コーナー、企画展示コーナー、交流体験スペース・閲覧コーナー</p>		

施設設置目的
新潟のマンガ文化及びアニメーション文化を次世代に継承し、及び発展させることにより、市民の文化活動の振興に資するとともに、これらの文化を市内外に発信することにより、本市の観光交流の推進及び地域の活性化を図ることを目的とする。

管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>1 基本理念</p> <p>(1) マンガ・アニメを本市文化施策の主要な柱に位置づけ、市民の誇りとなるよう、その継承と発展に努める。</p> <p>(2) マンガ・アニメとゆかりの深い本市の特性を活かした取り組みを進め、国内外に発信し、多様な交流を促すことで地域の活性化を実現する。</p> <p>2 展開の方向性</p> <p>(1) 本市と強いつながりのあるマンガ・アニメ文化紹介</p> <p>(2) 市内はもとより市外や海外からの来館者、リピーター創出</p> <p>(3) マンガ・アニメの世界観を体感できる体験型の展示構成</p> <p>(4) まちなかのコンテンツと連携し、多様な交流とまちの活性化実現</p> <p>(5) 子どもたちの夢や想像力を育む事業展開</p> <p>3 実施事業</p> <p>施設の設置目的を達成するために以下の事業を行う。</p> <p>(1) マンガ・アニメに関する資料等を収集し、保存し、調査し、及び研究すること</p> <p>(2) マンガ・アニメに関する資料等の公開及び閲覧に関すること</p> <p>(3) マンガ・アニメの普及及び啓発に関すること</p> <p>(4) マンガ・アニメに関する交流及び体験活動に関すること</p> <p>(5) マンガ・アニメに関する講演会、講座等を開催すること</p> <p>4 管理運営方針</p> <p>(1) 当該業務において善良なる管理者の注意をもって実施する義務を負うものとする。</p> <p>(2) 施設の設置目的を踏まえて、新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家の一体的な管理によりその効果を最大限発揮させるよう、努力するものとする。</p> <p>(3) 業務全般について計画立案を行い、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針のもとで、仕様書に示す多岐にわたる業務について適切に進捗管理を行い実施するものとする。</p> <p>(4) 指定管理者は、施設の管理について創意工夫のある企画や効率的な運営等により、入館者の多様なニーズに応え、質の高いサービスの提供を図り、効果的・効率的な管理運営を目指すもの</p>

2022年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	施設入館者数	情報館・マンガの家合わせて 年140,000人以上	・情報館 177,227人 ・マンガの家 27,154人 両館合計 204,381人	A	安全性を考慮した施設運営を行いながらも、幅広い層からの来館を促す企画展の実施や、趣向を凝らした体験講座の実施により、目標を大きく上回る来館者数を獲得しており、高く評価できる。
	企画展の実施	・情報館 年4回以上 ・マンガの家 年2回以上	・情報館 6回 ・マンガの家 2回	B	
	事業の実施	・マンガの家における制作実演参加者数 年1,000人以上 ・マンガ出張講座実施回数 年6回以上	・参加者数 3,262人 ・実施回数 10回	A	制作実演では講座内容のブラッシュアップや、効果の高い周知を実施したことで目標の約3倍の参加者を獲得しており、高く評価できる。
	施設間の連携	情報館及びマンガの家の共通イベント等連携事業 年5回以上	連携事業 計5回	B	
	広報・PRの充実	・ホームページアクセス数 年300,000件以上 ・各種メディアへの掲出(取材含む) 年50回以上	・PV合計 492,181件 ・メディア掲出 97回	A	回数だけでなく、より効果の高い広報を実施しており、評価できる。
	入館者の満足度	入館者アンケートで「満足」が80%以上	各項目の「満足」+「まあまあ満足」の合計 ・情報館 89.7% ・マンガの家 98.0%	A	両館ともに、高い満足度を得ており、サービス力を評価できる。
	要望・苦情に対する回答	要望・苦情には原則5営業日以内に回答	即日対応を基本とし遂行。特に大きな問題は発生していない。	B	
自主事業の実施	施設の設置目的に合致した自主事業の実施	年間売上金額が過去最高(2億円以上)	B		
財 務	運営経費の削減	管理運営経費を指定管理料年度協定額以下	指定管理料62,897,870円に対し、支出額62,897,870円	B	
	適正な財政運営、財務管理	収支計画に基づく収入の確保及び費用の執行、収支状況の記録	収支計画に基づき適正に執行。収支状況も月次、企画展ごとに記録し管理した。	B	
業 務	事業の適正な実施	・業務仕様書等に定める事業の実施及び遵守 ・業務マニュアルの作成	業務仕様書や業務マニュアルに基づき適正に実施。	B	
	市民協働の推進、地域・関係団体等との連携	地域、関係団体等との連絡調整会議、連携イベント開催 年1回以上	BP会議に出席。新潟観光コンベンションとの連携実績あり。	B	
	社会・地域への貢献	再委託する場合の市内事業者への再委託及び物品等の市内事業者(店舗)からの調達率 90%以上	市内調達率94%	B	
	安心・安全の確保	・緊急連絡網、危機管理マニュアルの作成 ・防災訓練 年2回以上実施	緊急連絡網・危機管理マニュアルを現状に合わせて加筆修正。スタッフが即座に確認できる場所に配置。防災訓練は6月と11月に実施。	B	
	コンプライアンス	コンプライアンス研修の実施 1人あたり年1回以上	企画展開始前に毎回実施。	B	
	業務仕様書の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	適切に遵守している。	B	
人 材	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	法令順守を尽し問題なし。	B	
	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	職員業務研修の実施 1人あたり年2回以上	企画展開始前を目途に2回実施。	B	
	市内雇用への貢献	市内居住者の雇用率 80%以上	市内居住者雇用率81.25%	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

令和4年度における両館の運営は新型コロナウイルス感染対策を据えた「安全性と集客のバランス」を主なテーマとしながら、特に新規固定支持層の拡大を図る取り組みを進めた。今年度中も第7波、8波と大きな感染拡大期はあったものの、当施設でのスケジュールの変更や集団感染などには至っておらず、前述のような運営テーマに対して高次元の結果をもたらすことができた。コロナ期も3年を迎え、施設運営側、お客様側共に新しい生活様式や運営方法への理解が進み、対策への抵抗感・違和感が低くなってきたことも要因のひとつと考えている。また、2023年は開館10周年の年でもあることから、アニバーサリーイヤーを冠した両施設のプロモーションをスタートさせるなど、独自の話題づくりにも注力してきた。

結果として、本年度は両館合わせて20万人という開館以来最高の結果を得ることができた。開館から10年の間で蓄積してきたノウハウと、コロナ期を経て得た安全で効率的な運営方法が高い次元で昇華させた1年であったと自負している。アフターコロナ期になるであろう11年目に向けて最高の礎を築くことができた。

所管課による総合評価（所見）

現地調査日：令和 5年 2月 14日

本年度は施設開館以降過去最高の入館者数を獲得した。その要因としては、前年と比較して新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に緩和され、観光客の足並みが戻ってきただけでなく、お客様のニーズにあった人気作の企画展示の実施や、満足度の高い制作実演の企画など、これまでの経験を活かした指定管理者の高い運営力が挙げられる。また、10周年イヤーを記念したポスター展示や、廃棄材を活用した落書きコーナーの設置のほか、施設の新たな利用方法の試行など、独自の視点から新たな企画や工夫を行っている点が評価できる。次年度も引き続き、前例にとらわれないチャレンジを期待する。